

狭額縁

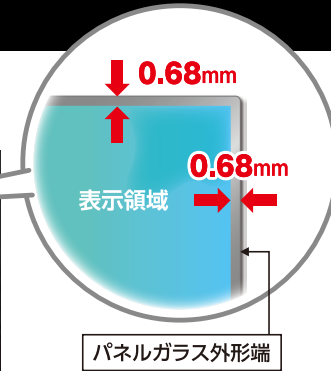
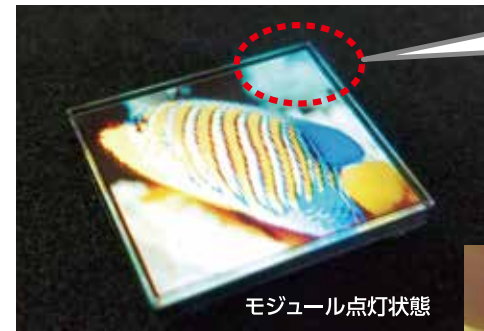
4辺超狭額縁OLED

プロセス高精度化と駆動回路実装技術の革新がもたらすPM-OLEDの新たな価値。

■ 柔軟な配置を可能とする 4辺超狭額縁パネル構造

高精度部材の採用とパネル製造技術の高度化により、シール領域と配線領域を極限まで狭小化。パネル外形いっぱいまで広がるRGBフルカラーの表示は、従来のPM-OLEDの常識を大きく超え洗練した印象を与えます。
お客様製品内の狭いスペースへのディスプレイ配置を可能とするほか、複数個を使用して表示面に高低差を持たせるなど、製品のデザイン性・機能性向上に貢献します。

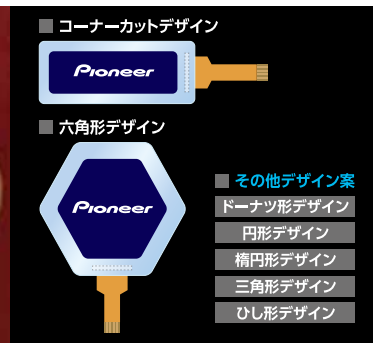
外周4辺のオール超狭額縁化を実現！



常識の限界を、超える。

異形状形状OLED

「四角いディスプレイに筐体デザインを合わせる」から
「筐体デザインに合わせるディスプレイ」へ。



■ 異形ガラスカット技術と柔軟なモジュール設計の融合

小型のディスプレイを搭載した製品の多様化にともない、コーナーカットや円形といった特殊形状ディスプレイのニーズが高まっています。
当社は矩形形状以外にも対応した最新のガラスカット設備を保有しており、長年培ってきたカスタムディスプレイモジュールの設計技術と組み合わせ、お客様のご要望に応じた特殊形状ディスプレイの提案が可能です。通常タイプのディスプレイのほか、透過型OLEDとの組み合わせにも対応。お客様筐体デザインを最大限に活かすディスプレイを実現します。

異形